

わたしたちの難民問題

2021 vol.22



紛争や迫害を逃れ、家を追われた人が、世界各地に約 8,000 万人いるといわれています。日本にも様々な国から難民が庇護を求めてきています。難民の現状を知り、私たちにできることは何か、一緒に考えてみませんか。

12/1 (水) 『日本における難民認定制度の現状と課題』

渡邊 彰悟さん (全国難民弁護団連絡会議代表、第一東京弁護士会)

日本が難民条約に加入して 40 年。法改正の議論がある中、難民認定手続にどのような課題があるのか、なぜ難民認定数が極端に少ないのか。長年、難民認定申請者の法的な支援を続けてこられた第一人者の弁護士より難民認定制度の仕組みと課題、これからの難民保護がいかにあるべきかを伺います。

12/8 (水) 『アフガニスタン難民はいま』

南部 成子さん、古川 敦子さん (UNHCR アジア地域事務所)

タリバン復権後、混乱が続くアフガニスタン。1979 年のソ連侵攻以来、武力紛争が絶えず、多くの人々が難民や国内避難民となり故郷を離れざるを得ませんでした。情勢の悪化により今年に入ってから新たに約 70 万人が避難を強いられています。現地に残り支援を続ける国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) より、最新の現地情勢や活動について聞きます。

12/15 (水) 『ミャンマー難民の現状と支援活動』

中尾 恵子さん (日本ビルマ救援センター代表)、チェリーさん (仮名、ミャンマー出身)

軍事クーデターから半年以上が経過し、市民への弾圧が続くミャンマー。少数民族に対する国軍の武力攻撃により、多く人が国内避難民、難民となっています。長年支援を続けている NGO の代表より現地の状況、支援活動について、また、在日ミャンマー人の講師から日本のコミュニティへの影響、現地への支援活動について伺います。

時間：19:00～20:30

定員：40名 (要事前申込) 参加費：無料

会場：ZOOM を利用したオンライン講演会 (申込者には当日の〈招待 URL〉をお送りします。)

申込方法：右記の QR コードを読み取り、申し込みフォームよりお申込みください。

URL からでも申込可能 <https://forms.gle/DeJs5mpeAQQkkJnw9>

問合せ先：難民事業本部関西支部 078-361-1700 / kansai@rhq.gr.jp

神戸 YMCA 国際・奉仕センター 078-241-7204 / houshi@kobeymca.org

兵庫県国際交流協会 078-230-3090 / hia-ex-co@net.hyogo-ip.or.jp

